

計機健保の 決算報告

保険料の増収、保険給付費等の減少で 2年ぶりの黒字決算

平成26年度事業報告および収支決算が、7月14日(火)に開催された第111回組合会において承認されましたので、以下に収支決算の概要を報告します。(本文中の決算額等は百万円未満四捨五入で表記しています)

●平成26年度事業 保険者機能の充実を図る

平成26年度は、重点事業である疾病予防事業において、健康診断や乳がん・子宮がん検診の対象者と年齢を拡大し、また、組合診療所での各種健診の実施態勢を変更するなど、引き続き健診の充実を図りました。また、年2回の「ジェネリック医薬品促進通知」の送付を新たに実施した他、体育奨励についても各事業を継続し、保険者機能の充実を図りました。

●平成26年度収入支出決算

健康保険 (一般勘定)

○収入総額	171億1000万円
○支出総額	166億3300万円
○収支差引額 (決算残金)	4億7700万円
*予算総額	171億8400万円

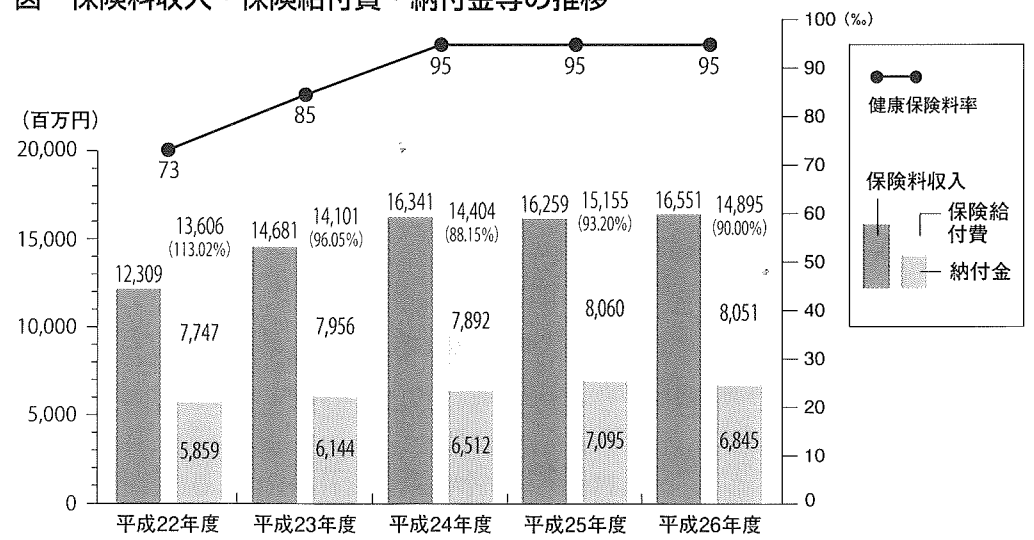
収入 被保険者数等が増加

平成26年度の予算では、別途積立金からの繰入れを計上して、健康保険料率を95%に据置きとしました。基礎数値の平均標準報酬月額額は、前年度決算比455円増の37万5146円、平均被保険者数は、同比157名増の3万1447名となり、ともに前年度を上回りました。また、平均標準賞与額が同比6万8818円増の114万1371円となったことにより、保険料収入は165億5100万円で、前年度決算額より2億9200万円の増加となりました。

支出 保険給付費、納付金は減少

平成26年度の医療費改定では0.1%の引上げが実施されましたが、保険給付費は前年度決算比で900万円の減となりました。また、納付金等については前々年度精算分の調整などもあり、同比2億5100万円の大幅減となりました。この2項目で保険料収入に占める割合は、前年度比3.

図 保険料収入・保険給付費・納付金等の推移



*保険給付費・納付金の合計額の()内は保険料収入に対する割合。

収支 黒字に回復するが 不安定な状況は続く

健保組合の本来の事業に要する収支を経常収支

2ポイント減の90% (右図参照)となっています。